



伊駒アルプスロード通信

創刊号

～より快適に、より便利に 豊かな暮らしにつながる道路～

飯田国道事務所

◇ 国道153号 伊駒アルプスロードについて紹介します

バイパス事業の進捗を発信していきます。

伊駒アルプスロード通信（通称：いこま通信）では、国道153号 伊駒アルプスロード事業に関する様々なトピックをお知らせする機関紙です。発刊は随時となりますが、今後ご愛顧いただきますよう、よろしくお願いいたします。

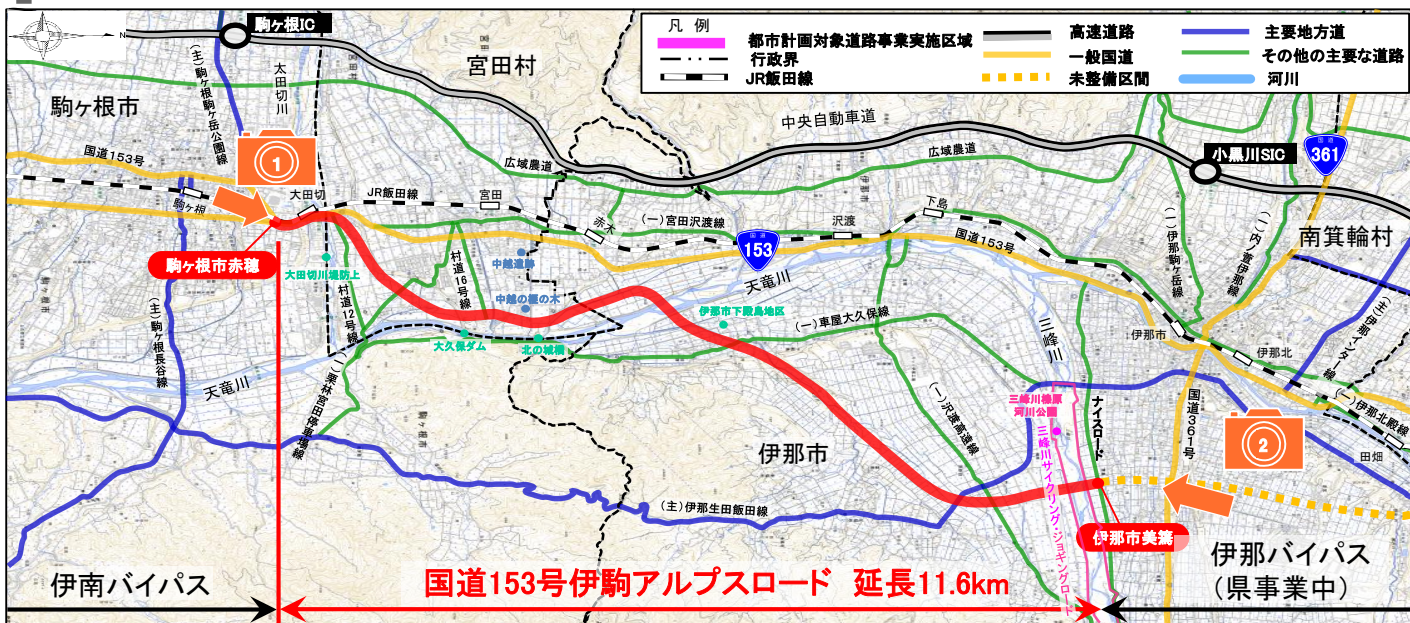
私たち飯田国道事務所と申します。

伊駒アルプスロードは、令和2年度に国土交通省の事業として新規に事業化しました。飯田国道事務所は国土交通省の出先機関であり、長野県南信地域の国道のうち国道153号（主に飯田市以南）国道19号（塩尻市以南）等の整備・管理を行っており、この度より、伊駒アルプスロードの整備に主体的に関わることになりました。今後もよろしくお願いいたします。

事業概要

国道153号伊駒アルプスロードは、^{あかほ}駒ヶ根市赤穂から^{みすず}伊那市美簀に至る約11.6kmのバイパスです。伊南バイパスと伊那バイパスを結び、国道153号の混雑解消、円滑で安全な交通の確保等に目的に計画されています。

位置図



① 駒ヶ根市側から望む伊駒アルプスロード

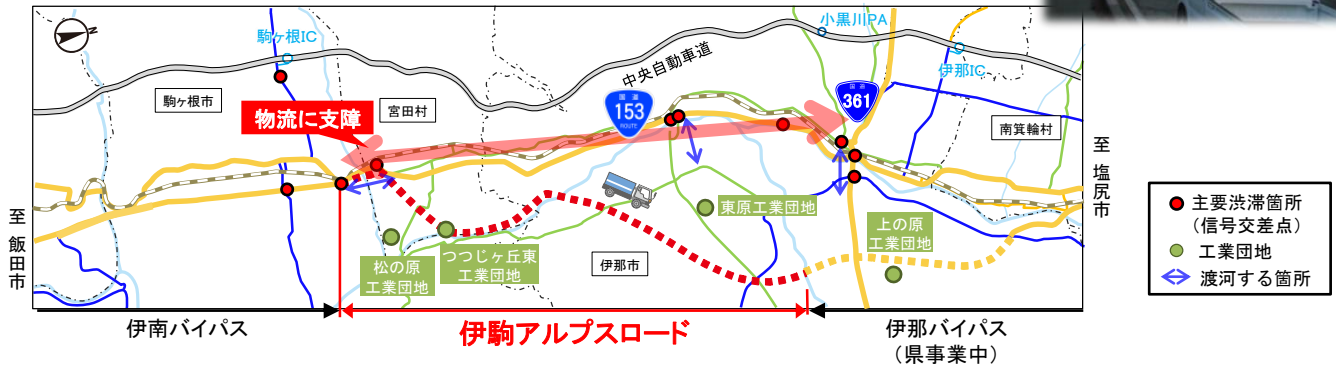


② 伊那市側から望む伊駒アルプスロード

≫ 現道の課題と伊駒アルプスロードの効果

① 交通集中により円滑な交通に支障

- ・ 国道153号の駒ヶ根市～伊那市の区間においては朝夕の通勤時間帯を中心に交通が集中し、主要渋滞箇所が点在しています。
- ・ 当該区間の渋滞により、駒ヶ根市と伊那市間の円滑な交通に支障をきたしています。

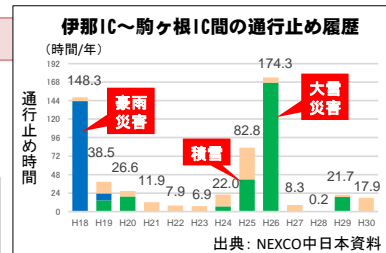


効果1 渋滞緩和による企業の生産性向上

国道153号の生活交通と通過交通を分離すると共に、バイパスにより天竜川を渡河することで、国道153号の渋滞緩和及び沿線企業の生産性向上を図ります。

② 中央自動車道の代替ネットワークの確保

- ・ 国道153号に並行する中央自動車道では、土砂災害や積雪、事故等による通行止めが毎年発生しています。
- ・ 迂回車両の流入により国道153号で渋滞が発生しています。



効果2 中央自動車道の代替路の確保

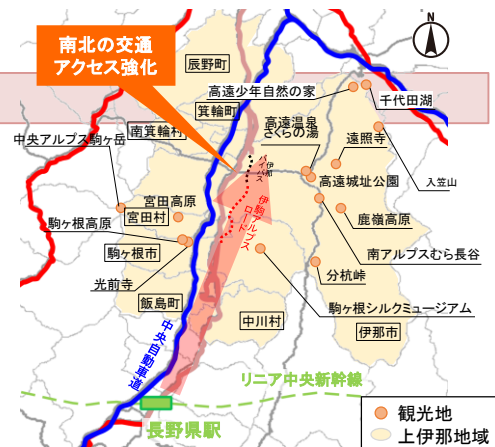
中央自動車道の災害・事故等に伴う通行止めに対し、並行する国道153号を強化し、信頼性の高い道路ネットワークを形成します。

③ リニア中央新幹線による観光活性化効果の波及

- ・ リニア長野県駅の開業に伴い、更なる観光客増加が期待され、リニア効果を広域に波及するため南北方向の交通アクセス強化が課題となっています。

効果3 南北軸の強化による観光支援

リニア中央新幹線長野県駅の開業を見据え、南北アクセスを強化することで、地域観光を支援します。



※お気づきの点、ご意見等ありましたら、下記連絡先までご連絡ください。



国土交通省 中部地方整備局
飯田国道事務所

〒395-0024 長野県飯田市東栄町3350
TEL.0265-53-7204 (計画課)
<https://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/>